

産業振興施設「サンドーム福井」(1/2)

～サンドーム福井は「県民の方に親しまれ、利用される施設」を目指します～

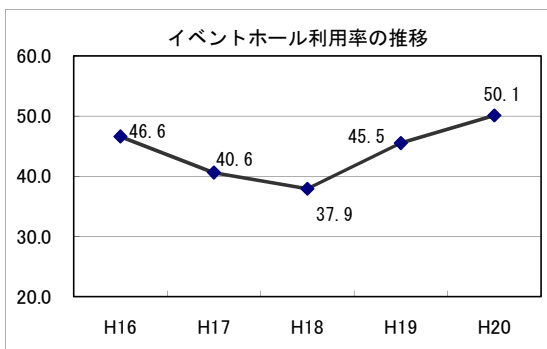
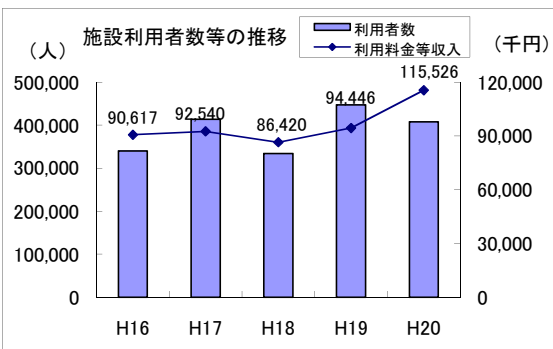
所在地	越前市瓜生町51-11		
設置年月日	平成7年7月29日		
施設の種類	貸館・貸室	施設管理主体	指定管理者（財）福井県産業会館
設置の目的	産業の振興および地域の活性化に寄与する		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・地上3階、地下1階、建築面積16,019㎡、延べ床面積27,917㎡、イベントホール(展示面積1階約5,100㎡、2階約2,900㎡、天井高最大40m、電動可動席6,000席)、小ホール、会議室7部屋		
職員数	指定管理者職員(7人)		

利用状況等

	H16	H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	340,166	413,805	334,000	447,460	407,973
イベントホール利用率(%)	46.6	40.6	37.9	45.5	50.1

利用者負担(利用料金)等

入館料	イベントホール(土日祝)	1,134,000円
	イベントホール(平日)	945,000円



利用状況の推移

- 平成16年度以降、集客力の大きいイベントが少なかったため、施設利用者数、イベントホール利用率は減少傾向となりました。
- 平成19年度は、食育推進全国大会などの公的なイベントやコンサートなど集客力のある民間イベントが増加し、利用率は45.5%、利用者数は447千人となりました。
- 平成20年度は、公的な大型イベントはなかったものの、コンサートなど集客力のある民間イベントが増加し、利用率は50.1%となり、開館年度(平成7年度 56.7%)に次ぐ高い利用率となりました。また、利用料金収入も、入場料を徴収するコンサート等のイベントが増加したことから、115,526千円となりました。平成20年度の利用者数は407千人となり、開館当初(平成7年度 738千人)に比べ約55%となっています。

●「誘・遊・愉 おもしろフェスタinサンドーム福井2008」の開催

8月9日(土)・10日(日)に、将来の本県産業界を担う子どもたちに、科学やものづくりに対する関心を深めてもらうことを目的として、県内の学校・企業・団体等と連携して、科学実験教室や伝統工芸の体

両日で11,200人が来場され、楽しい時間を過ごしていただきました。



●ギャラリーの無料貸出

県民の方に親しまれ、利用される施設となるための取組みとして、管理会議棟ギャラリーの無料貸出を行っており、保育園・幼稚園や学校、各種教室、産地組合などの作品発表の場として利用していただいています。(※作品展示に必要な場所・備品などを無料で提供しています)



●地元地域団体への無料貸出

地域住民への施設周知の促進と利用向上を図る取組みとして、地元地域団体を対象に、平日(火～木曜日)のイベントホールの無料貸出を行っております。(※冷暖房代、電気代、設備利用料金等は別途必要と

ゲートボール大会



消防訓練



20年度の特徴について

平成18年4月から、指定管理者に(財)福井県産業会館を指定し、新たな取組みを行っています。(委託期間 21年3月までの3年間)

事業実績

- 県内の学校、企業、団体と連携し、「福井のものづくり大発見！」をテーマに、利用促進PR事業「誘・遊・愉 おもしろフェスタinサンドーム福井」を開催しました。(4,168千円)
- イベントホールの平日利用促進を図るため、地元地域団体への無料貸出を試行的に実施しました。(利用件数23件)
- ホームページでは、イベントホールの空き状況の公開や会議室申請書の掲載ほか、県内ものづくり企業や伝統産業等の情報を提供するなど、内容の充実を図りました。

【イベントホールの利用状況等】
丹南産業フェア、音楽コンサート、自動車展示会、スポーツ大会など、合計72件のイベントが開催されました。

産業振興施設「サンドーム福井」(2/2)

行政コスト計算書(平成20年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	賞与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	67,495	9.4%	99.1%
	維持補修費	0	0.0%	-
	減価償却費	650,560	90.6%	100.0%
	計	718,055	100.0%	99.9%
その他	支払利息	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計		718,055	100.0%	99.9%
収入	利用料等収入	2,930	0.4%	100.0%
	一般財源	715,125	99.6%	99.9%

バランスシート(平成21年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	10,412,232	94.1%	固定負債	0	-
うち土地	3,231,956	100.0%			
うち建物	7,049,749	91.7%			
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	皆減	純資産	10,412,232	94.1%
計	10,412,232	94.1%	計	10,412,232	94.1%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H20	H19	前年比
県民1人当たり有形固定資産額	12,816	13,568	94.5%
県民1人当たり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	100.0	100.0	100.0%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	<p>平成18年4月から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託しています。 物件費など物にかかるコスト、利用料等収入など収入とも前年並みであり、県民1人あたりのコストも前年並みの実績となっています。</p> <p>建設時の起債償還が終わっており、職員配置もないことから、将来負担につながる負債がありません。</p> <p>貸館・貸室という施設の性質上、土地・建物を中心とした有形固定資産が資産の大部分を占めており、行政コスト全体の90%に上る減価償却費が県民1人あたりコストが高い水準にある要因です。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>施設の利用促進を図るため、県内外を問わず幅広い営業活動を積極的に実施しています。また、広報誌「SANSAN」(年2回)や「催事案内」(毎月1回)の発行、メールマガジンの配信(毎月1回)など広報活動の強化に取り組んでいます。</p> <p>施設の点検・修繕を行うなど、施設の維持管理に努めています。</p> <p>産業観光ギャラリーにおける県内企業の製品展示、観光情報の提供等により、県内産業の振興に取り組んでいます。</p>
今後の課題	<p>利用者数がピーク時の約6割に落ち込んでいるため、イベントホールの利用率を高めるなど、施設の効用を最大限に発揮することが必要です。</p> <p>また、安定した収入を確保していくため、収入源が一部のイベントに偏らないよう、幅広い利用者を開拓していくことが必要です。</p>
今後の事業方針 取り組み内容	<p>本県の産業振興および地域の活性化、本県の知名度向上に寄与するため、施設の特徴を活かした展示会・見本市、全国大会などの集会、コンサートおよびスポーツイベントなどの誘致を関係団体および県内他施設などと連携を図りながら積極的に行っていきます。</p> <p>施設、設備の定期的な点検や早めの修繕を行い、大きな故障等の未然防止に努めるとともに、一層のコスト縮減を図ります。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)

